

事業所名

ファミリー・キッズ厚木

支援プログラム

作成日：令和 2025 年 3 月 10 日

法人（事業所）理念		ファミリー・キッズでは、お子様、ご家族お一人おひとりに寄り添い、スモールステップで、小さな「できた！」を、みんなで一緒に喜び★自己価値「感」★が芽生えるような支援を心がけております。 【知に学び、友に遊び、共に育み、ともに生きる】	
支援方針		遊びを通して引き出す「基本教育」 ・表情・・・人間関係の幅を広げ豊かな表情を引き出します。 ・興味・関心・・・行事や社会体験を通じて興味・関心を広げていきます。 ・意思伝達能力・・・決定や選択の意思が図れるようにしていきます。 ・自立・向上心・・・自立力を高め自ら行動できるようにしていきます。	
営業時間		放デイ/（登校日）10：00-17：00（休校日）9：00-16：00 児発/9：00-15：00	送迎の実績 有 学校・ご自宅 送迎
本人支援	健康・生活	【生活のリズム作り】学校同様に時間割のスケジュールを採用。毎日 規則正しく生活するためのリズム作りを取り入れ次に何をやるのかなど意識させ次の作業の見える化で安心した生活リズムが送れるよう毎日の活動に取り入れています。 【安心した場所の提供】学校やご家庭等の事で話しにくい相談しにくい悩みを個別に信頼できるスタッフで相談に乗ります。施設が学校、ご家庭以外の第三の安心した居場所を心がけ安心して気持ちで通所していただき安定した精神で過ごせる環境をご提供します。	
	運動・感覚	【柔軟性】身体を柔らかくするために「柔軟運動」を取り入れてケガの少ない身体づくりと、自分の思った通りに身体が動かえるように「SAQ」や身体がどのように動かせば自由に思った通りに動かせるかなど飽きさせず楽しく活動に取り入れています。 【感覚・姿勢】正しい姿勢を保つ事やバランスを鍛えるために体幹を取り入れています。また長時間時としていられないなど苦手な部分を直すために職員がワンツーマンで取り組む時間をもうけゆっくりと無理なく時間をかけてサポートしています。	
	認知・行動	【認知】個別に応じた取り組みを行っています。スモールステップからの組み立てや保護様が望んでいることを中心に活動や個別活動に取り入れていますので、勉強や運動、言葉遣いなど多様に応じて認知させるサポートに取り組んでいます。 【行動（自主的行動）】基本ルールやスケジュールはありますが、自主的に行動したい事に関しては自主的発言から内容に応じて後押しをする支援を心がけていますのでルールに乗った行動ではなく「個」を大切に尊重した上での支援を行っています。	
	言語コミュニケーション	【コミュニケーション（仲間同士での行動）】職員が指導指示をすると言うよりは仲間同士で考え、行動し仲間同士で指示や注意、行動が出来るようにバックアップ的なサポートを行っています。そのための言葉遣いや相手への思いやりコミュニケーション作りを職員がサポートし仲間同士のコミュニティー作りを取り組んでいます。 【言語】言語に関しては「単語」での発言には答えず相手に伝える能力をサポートし文章で会話出来き相手に自分の意思をきちんと伝える事が出来るように取り組んでいます。	
	人間関係社会性	【人間性・社会性】将来を考えて自分や仲間でも何事にも取り組んでいけるように施設の目標として仲間同士で1日のスケジュールや活動、役割担当、本日の責任者など職員が指示しなくても自主的に行動し、仲間同士で助けあいながら自分たちで進めていけるように取り組んでいますので職員は聞かれたら答える姿勢を心がけ支援しています。まずは自主性を育て出来ない事など仲間や職員に相談し解決へと踏み出せるための人間力や生きる力を自分や仲間同士で築き上げて行く事を目標に取り組んでいます。	
家族支援 きょうだいへの支援		・保護者向けの相談・支援、きょうだい児に関する相談等プログラム ・育児に関する相談等面談を通し家庭でできる支援の提案とアドバイス	主な行事等 子どもの日の集い・お誕生日会・運動会・クリスマス会・・・
移行支援		・小・中・高校や保育園・幼稚園との連携 ・就学準備プログラムの実施 ・進路相談と関係機関との調整	祝日、長期休みには主に外出活動を取り入れ、ご利用者の視野を広げる活動を行っています。また地域交流やプロスポーツ団体や企業職業体験や見学、農地の開拓等、ご利用者や保護者の意見を取り入れたイベント活動を企画行っています。また保護者様参加型のイベントも定期的開催。今後社会に出るための選択肢を広げるための経験、体験を本場（本職の人たち）から学ぶことを行事の一環として積極的に取り入れた行事を行っています。
地域支援・地域連携		・地域の子育て支援機関との連携や地域イベントへの参加・共催 ・ボランティアや実習生の受け入れ	
職員の質の向上		・定期的な研修・勉強会の開催 ・専門機関との連携によるスキル向上 ・スタッフ同士のケースカンファレンスの実施	